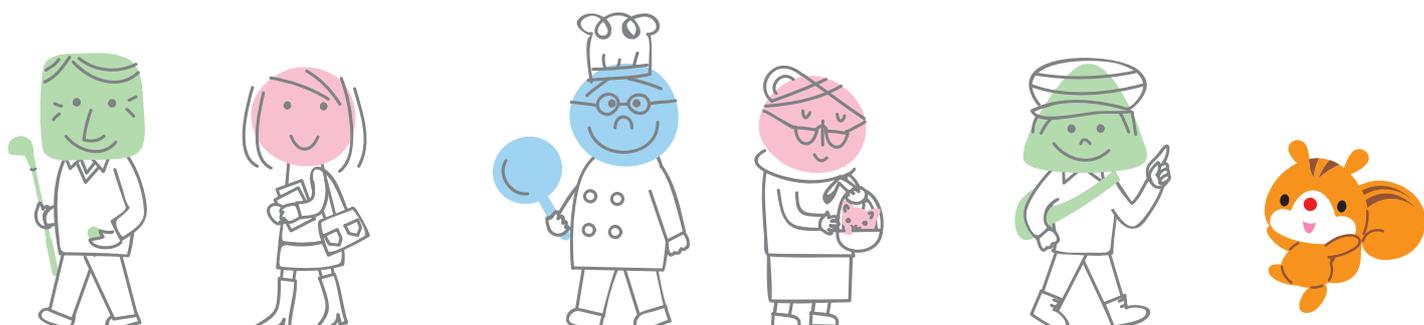
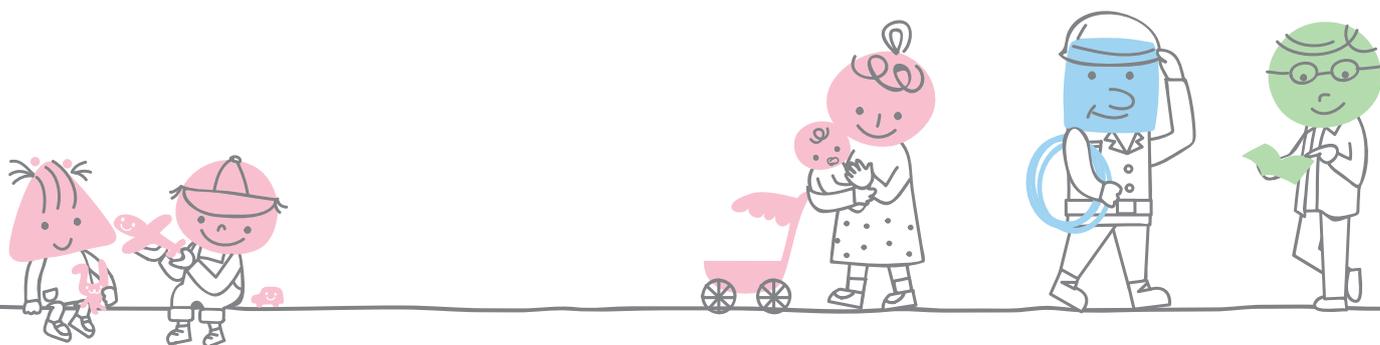


「お客様の声」を地域の未来に…

たましんレポート 2011年12月期

Tamashin Report



[平成23年4月1日~12月31日]

多摩信用金庫



理事長からのごあいさつ

日頃より(たましん)をご愛顧いただき、ありがとうございます。
 平成23年4月から12月までの私たちの活動内容やその結果をご報告いたします。
 日本全体が再生を目指し力強く歩み始めている今、お客さまとの「絆」を強めるとともに、人々が生きていく「地域」を作っていくことがたましんの使命と考え、地域の課題を解決するインフラとしての役割をしっかりと果たしていきたいと思っております。
 今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



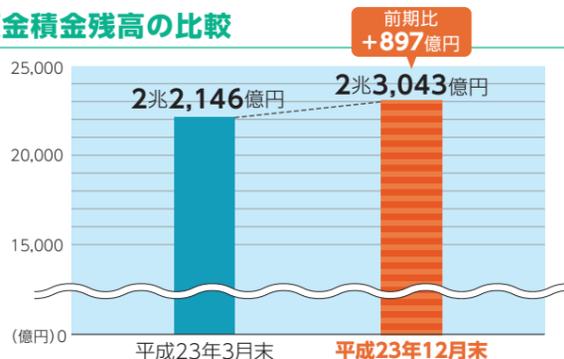
理事長 佐藤浩二

預金・貸出金について

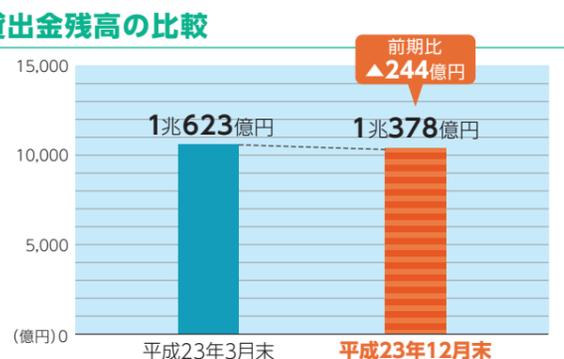
預金は897億円増加しましたが、貸出金は244億円減少しました。

預金積金残高は、3月末より897億円増加し2兆3,043億円となりました。個人のお客さまを中心に流動性・定期性ともに伸びています。
 貸出金残高については、3月末より244億円減少し、1兆378億円となりました。内訳をみると、事業性のご融資は158億円減少し、個人のお客さまのご融資は85億円の減少となり、私どもの課題解決力の不足を感じております。厳しい環境下にある企業の資金面での課題に配慮するとともに、個人の方の悩みや課題により多く応えられるよう、さらに行動量を増してまいります。

預金積金残高の比較



貸出金残高の比較



※個人事業者向け消費者ローン・住宅ローン等の消費資金を含んでいます。

不良債権について

不良債権比率は8.58%です。

金融再生法における開示債権のうち正常債権を除く開示額は899億円となり、3月期と比べ増加しておりませんが、貸出金総額が減少したため、結果として不良債権比率は上昇し、8.58%となりました。

たましんの不良債権に対する考え方は、適正な資産査定を行うのはもちろんのこと、お客さまの業況を適正に把握しながら課題を見出し、ともにその解決を目指すことにあります。今後も、お客さまの業況改善への支援を積極的に行い、さらなる地域貢献を果たしていく中で、たましんの健全化に努めてまいります。

債権総額の比較と内訳



※1 債権残高は、倒産・延滞や決算期の到来等の事象の発生の都度、実施された自己査定結果に基づいております。
 ※2 自己査定で無価値または回収不能と判断された債権については部分直接償却予定額として、平成23年12月期の「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」から、21億円を控除しております。
 ※3 要管理債権の残高はありません。

たましんの平成23年12月期の不良債権は899億円ですが、このうちの約81%は担保・保証や貸倒引当金によって保全されています。残りの約19%にあたる168億円についても、自己資本により、100%カバーされています。

有価証券について

資金運用については、国内の債券を中心に堅実な運用を心がけ、保有有価証券の評価益は67億円となりました。

金利リスクや信用リスクなどの各種リスクの管理を行ったうえで、国内の債券を中心に株式や外国証券等に分散投資したポートフォリオを構築し、堅実な資金運用を心がけております。

震災・欧州諸国の債務問題などにより国内株式市場は下落しましたが、信用力の高い債券の金利は引き続き低水準であったことから、保有有価証券の評価益は67億円となりました。

有価証券の時価等情報

その他保有目的の有価証券に係る取得原価(償却原価)、貸借対照表計上額及び差額は以下のとおりです。

単位/百万円

	取得原価(償却原価)		貸借対照表計上額		差額		うち益		うち損	
	平成23年3月末	平成23年12月末	平成23年3月末	平成23年12月末	平成23年3月末	平成23年12月末	平成23年3月末	平成23年12月末	平成23年3月末	平成23年12月末
その他保有有価証券	592,397	680,978	598,901	685,763	6,504	4,784	8,987	8,898	2,482	4,114
株式	11,757	12,388	11,175	10,305	△581	△2,083	1,054	522	1,636	2,605
債券	454,483	526,707	460,163	533,342	5,679	6,635	6,104	6,970	425	334
その他	126,155	141,883	127,563	142,115	1,407	232	1,827	1,405	420	1,173

※1 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。また、時価評価されていない「その他有価証券」も含まれています。
 ※2 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
 ※3 変動利付国債の時価については、合理的に算定された価額をもって貸借対照表計上額としております。これにより、市場価格をもって貸借対照表価額とした場合に比べ、債券はそれぞれ1,092百万円(平成23年3月末)、706百万円(平成23年12月末)、増加しております。
 ※4 平成23年12月末の差額は、平成23年12月末時点の取得原価(償却原価法適用後、減損処理前)と貸借対照表計上額との差額です。

満期保有目的の債券、子会社株式に係る貸借対照表計上額及び差額は以下のとおりです。

単位/百万円

	貸借対照表計上額		差額		うち益		うち損	
	平成23年3月末	平成23年12月末	平成23年3月末	平成23年12月末	平成23年3月末	平成23年12月末	平成23年3月末	平成23年12月末
満期保有目的の債券	98,030	103,525	677	1,945	1,116	2,074	438	128
子会社株式	1,653	1,653	—	—	—	—	—	—

※1 平成23年12月末の「差額」は、貸借対照表計上額(平成23年12月末時点の帳簿価格(償却原価法適用後、減損処理前))と時価(期末日における市場価格等)との差額です。
 ※2 変動利付国債の時価については、合理的に算定された価額をもって評価しております。これにより、市場価格をもって評価した場合に比べ、差額はそれぞれ140百万円(平成23年3月末)、209百万円(平成23年12月末)、増加しております。

損益について

業務純益は79億円、当期純利益は42億円となりました。

業務粗利益は、市中金利の低下や貸出金の減少などにより、前年同月比23億円減少の286億円となり、経費、一般貸倒引当金繰入額を控除した業務純益は、前年同月比16億円減少の79億円となりました。

また、業務純益から個別貸倒引当金繰入額など臨時損益15億円を控除した経常利益は、前年同月比16億円減少の63億円となり、当期純利益は前年同月比10億円減少の42億円となりました。

損益の状況

単位/百万円

科目	平成22年12月期 (平成22年4月1日~12月31日)	平成23年12月期 (平成23年4月1日~12月31日)	増減額
業務粗利益	30,961	28,622	△2,338
うち資金利益	28,774	27,447	△1,327
うち役員取引等利益	1,530	1,516	△13
一般貸倒引当金繰入額	△659	△1,417	△758
経費	21,925	22,045	119
業務純益	9,694	7,994	△1,699
コア業務純益	8,492	6,901	△1,591
臨時損益	△1,684	△1,595	89
うち個別貸倒引当金繰入額	2,167	2,002	△164
経常利益	8,007	6,397	△1,609
当期純利益	5,290	4,282	△1,008

※貸倒引当金繰入額については、平成23年12月末の各債務者区分ごとの残高・分類額に平成23年12月末の実績率を乗じて算出しております。



企業へのお手伝い

国土交通省と専門家派遣に関するパートナー協定を締結

●平成23年12月、建設企業に対して中小企業診断士などの専門家を派遣する「建設企業のための経営戦略アドバイザー事業」について、国土交通省と当金庫がパートナー協定を締結しました。信用金庫としては全国初の締結となります。すでに金庫独自の中小企業支援事業「課題解決プラットフォームTAMA」にて専門家派遣事業を実施していますが、国土交通省とのパートナー協定締結により、より一層充実した中小企業支援体制が整いました。

第9回 多摩ブルー・グリーン賞表彰式の実施

●地域事業者の優れた技術・製品や新しいビジネスモデルの顕彰事業である第9回「多摩ブルー・グリーン賞」。今回は、「震災復興支援特別賞」を設けての募集となり、153件のご応募をいただきました。最優秀賞には株式会社応用技研(多摩ブルー賞)と株式会社グローバルエージェンツ(多摩グリーン賞)、他に優秀賞12件の受賞を決定し、12月15日に表彰式を行いました。

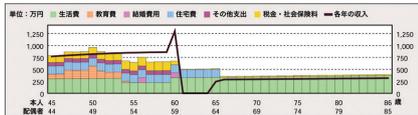


多摩ブルー賞 (技術・製品部門) 多摩グリーン賞 (経営部門)

個人の皆さまへの支援

じっくりご相談いただけるすまいるプラザの取り組み

●すまいるプラザでは、お客さまの将来にわたる必要資金が予測できる「ライフプラン・シミュレーション」を導入しておりますが、10月には年度別収支と資産残高がよりわかりやすいシステムを導入しました。また、4月から12月にかけては、税理士やファイナンシャルプランナーなどの外部講師による155件のセミナーを含む、全263件のセミナーを開催しました。



ライフプラン・シミュレーション

たましんトラベルサークル・スポーツイベントの開催

●日帰り・国内・海外のたましんトラベルサークルを実施し、全6,239名のお客さまにご参加いただきました。
●多摩地域のアマチュアゴルファーNo.1を決定する「多摩コミュニティカップアマチュアゴルフトーナメント」(愛称:多摩カップ)には、2,138名の方々にご参加いただきました。地区予選、最終地区予選を経て、119名の方々12月12日の決勝大会にて熱戦を繰り広げました。



多摩カップ

地域社会への取り組み

多摩センター支店「サクセシア」オープン

●12月19日に、多摩センター支店がオープンしました。愛称の『サクセシア』には、「お客さまに成功と幸せを」との願いがこめられています。オープン感謝デー(2日間)には、3,098名のお客さまがご来店されました。また、資産運用・ビジネス・健康・健康体操の各種セミナーを開催し、全458名が参加されました。



オープニング・セレモニー

「東京・多摩のおみやげ」特別企画「東京アベック」開始

●2011年から多摩地区30市町村の特産品を集めて紹介するサイトを開設してきた「東京・多摩のおみやげ」の特別企画「東京アベック」が12月に始まりました。多摩地区の異なる事業者同士を結びつけ、新たな特産品を開発する事業です。事業者の応募は33件あり、すでに10以上の特産品が生まれました。「東京アベック」の『アベック』とは、フランス語で「一緒に」という意味です。



東京・多摩のおみやげ

※トピックスについては10月~12月の主なものを紹介しています。

たましんレポート
2011年12月期
多摩信用金庫

〒190-8681
東京都立川市曙町2丁目8番28号
TEL:(042)526-1111(大代表)
http://www.tamashin.jp

発行:平成24年2月

※RISURUIはたましんのイメージキャラクターです。(C)2003,2012 SANRIO CO.,LTD. APPROVAL NO. G522451

本誌に関するお問い合わせは

お客さま照会センター
フリーダイヤル:0120-187-329

たましんホームページでも本誌やたましんに関するご意見を承っております。



この印刷物は、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構により色覚の個人差を問わず、多くの方に見やすく配慮されたデザイン(カラーユニバーサルデザイン)として認定されました。



お客さまの幸せづくり
たましん